



ぷりずむ

所長挨拶



所長 渡邊 文雄

4月1日から、放送大学鳥取学習センターの所長に就任した渡邊文雄です。3月末までの3年間、本学習センターの客員教授として経験を積ませていただきました。その中で、鳥取学習センターの素晴らしい学舎としての魅力を深く理解しました。この経験を生かして、センター長としての責務を果たす所存です。何卒よろしくお願いいたします。

私は3月まで鳥取大学で食品学や栄養学の分野で教鞭を執っており、健康維持・増進には日々の生活における「食事や栄養」が大切であることや定期的な運動の重要性を学生に教授してきました。人生100年時代を迎え、充実した人生を生きるためには、技術や社会状況が急速に変化する中で、学び続けることが一層重要になっています。新しいスキルを身につけたり、趣味や興味を追求することで、知的な刺激を保っていくことも大切です。自分の人生の目的や価値観を考え、それに向かって努力することにより、充実感が得られ、新たな友人との出会いや絆が深まることで、高い幸福感も得られることでしょう。鳥取学習センターは地域の知の拠点として、学ぶ人たちが現実の社会で活躍できる力を身につけ、

充実した人生を過ごせるように多数の講義やセミナーを展開しています。

現在、鳥取学習センターには様々なバックグラウンドを持つ社会人学生が多く在籍されており、教員、看護師、公務員など様々な職業に従事する方々が働きながら専門知識を深めています。また、定年退職後に興味のある学問領域の講義を受講し、知識を深め、卒業論文研究を通して真理を追求する過程で、新たな人生の目標を見いだされた学生も少なくありません。鳥取学習センターでは、これらの学生の皆様に対し、柔軟かつ適切な学習環境を提供し、仕事などとの調和を実現できるようサポート体制を充実しておりますので、明るく楽しいキャンパスライフをお過ごしください。

最後に、放送大学への入学を検討されています皆様には、鳥取学習センターが提供する充実した教育プログラムを広く知っていただき、皆様の夢と目標に向けてお手伝いできることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。皆様と共に成長し、未来に向けて一歩ずつ歩んでいけることを、教職員一同、楽しみにしております。

目次

所長挨拶	1	事務室からのお知らせ	7~9
巻頭言	2~3	学生掲示板	9~10
式典開催報告(学位記授与式・入学者の集い)	4	教務スケジュール	11
謝辞	4~5	今後のスケジュール	12
教職員異動のお知らせ	6~7		

- ・面接授業 (追加登録案内+申込用紙)
- ・オープンセミナーのご案内



心的外傷をケアすること

鳥取学習センター客員教員

社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院 主任臨床心理士

鳥取県臨床心理士会 前会長

木村 一朗

臨床心理学を基盤とした対人支援と支援者の支援を専門としています。

近年、暴力・虐待・喪失・災害・戦争などのトラウマ（心的外傷）となる出来事や小児期逆境体験（虐待や家族の機能不全：以下 ACEs、(エース) という。）が、神経発達系や免疫系を障害し、慢性的な身体疾患や精神健康上の問題を引き起こし、個人や社会に広範囲で有害な損失を与えることに注目が集まるようになりました。

過去にトラウマや小児期の逆境を体験した人が数多く存在することが、精神科医療など多くの領域で明らかになっています。一方で、これらの人を支援するためのサービスそのものが、再びトラウマを引き起こす原因になっていることが指摘されるようにもなりました。そのためトラウマの影響を理解した上で、サービスを求める側と支援する側の双方が、身体面・心理面・感情面の安全を重視しながら、それぞれの良いところを認め、それぞれの強み（ストレングス）を生かし、気づきとコントロール感を高めていく支援策が必要とされるようになっていきます。

1985年、米国の医師であるヴァインセント・フェリッティは自身の肥満専門クリニックで半数以上の肥満患者が通院を途中でやめてしまう原因を探るため、通院をやめた患者へインタビューを行いました。その結果、通院をやめた患者の多くが子どもの頃に性的虐待を受けた経験をもっていたことを明らかにしました。

これをきっかけとして1995年から米国疾病予防管理センターが、18歳以前に経験した ACEs（小児期逆境体験）の有無と成人期の心身の健康や社会適応との関連を調べました。そこでの ACEs は次のものが挙げられています。

【ACEs スコア】

虐待・暴力被害

1. 心理的虐待：繰り返し、心理的な暴力を受けていた（暴力的な言葉で痛めつけられるなど）
2. 身体的虐待：繰り返し、身体的な暴力を受けていた（殴られる、蹴られるなど）
3. 性的虐待：性的な暴力を受けていた

家族の機能不全

4. DV の目撃：母親が暴力を受けていた
5. 家族の精神疾患：家庭に慢性的なうつ病や、精神病を患っている人がいたり、自殺の危険がある人がいた
6. 家族の薬物乱用：アルコールや薬物乱用者が家族にいた
7. 家族の収監：家族に服役中の人があった
8. 片親／両親の不在：両親のうち、どちらもあるいはどちらかがいなかった（両親の別居または離婚）

ネグレクト

- 9.身体的ネグレクト：親に食事や生活の世話をしてもらえなかった
- 10.情緒的ネグレクト：親に無視されていた（心理的な養育の放棄）

18歳までに4種類以上のACEsを体験している人は、さまざまな身体健康、精神健康、社会行動のリスクが高まります。具体的には、肝疾患は2倍、肺疾患は3倍、15歳までの早期の性的関係を持つ可能性が4倍、うつが4.5倍、薬物使用が11倍、自殺企図は14倍に増えることなどが示されています。

さらに6種類以上のACEsを体験している人は、全く体験していない人と比べて寿命が20年も短くなり、早く死んでしまうということが分かっています。

こういったさまざまな社会問題や健康リスクが増えていき、最終的には早期の死を迎えかねないといったことについて示しているのが、ACEピラミッドといわれるものです。

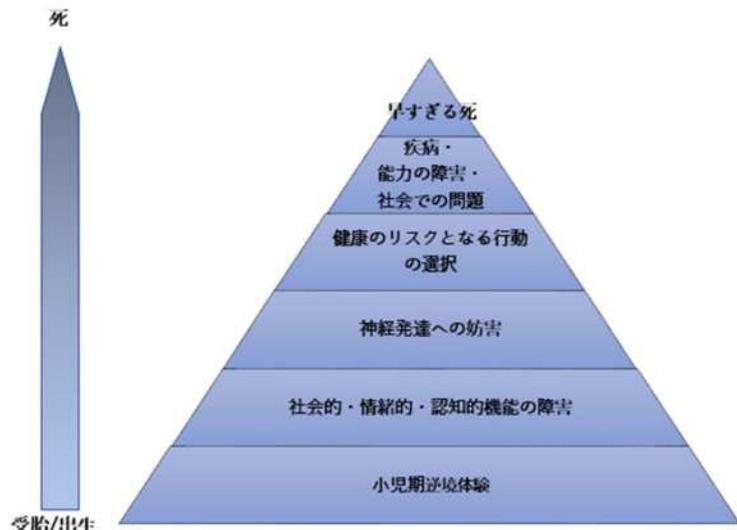


図 小児期逆境体験が健康や寿命に及ぼすメカニズム：ACEピラミッド

根底にACEs体験があると神経発達が阻害され、社会的情緒的認知的な支障を来し、リスクの高い行動をとりやすくなるから病気、怪我、社会問題を起こしやすくなり、早く死んでしまうということが示されています。つまりACEsは生涯にわたって影響を及ぼし、ACEsを有する多くの人たちが、その後の人生において、医療・保健福祉・司法とのかかわりをもつようになる可能性が高いことが示唆されます。

ACEs体験を持っている人は実はたくさんいることも、いろいろな国の調査で分かっています。人口の67%は1つ以上のACEsを体験していて、人口の8分の1は4つ以上のACEsを体験しているとの調査結果もあります。

そうなるトラウマケアは、たくさんの人に実は必要で、届けないといけないものということになります。

過去のトラウマやACEsから派生してきた問題の末端に位置する心身の疾患や社会行動上の不適応のみに目を向けて対応するアプローチだけでなく、その人のトラウマ歴やACEsと、現在認められている症状や問題との関連に目を向けることが必要であると考えられます。

支援者も含めて多くの人が心的外傷の影響を受けている可能性があることを知っている必要があります。



ご卒業おめでとうございます！



4月7日(日)、鳥取学習センターにて「学位記授与式」が開催されました。卒業生12名のうち5名が出席され、渡邊鳥取学習センター所長よりお一人おひとりに学位記と花束が手渡されました。

式典後、同窓会主催の「卒業を祝う会」が催されました。

2023年度2学期 卒業生		(名)
教養学部	生活と福祉コース	1
	心理と教育コース	6
	社会と産業コース	2
	人間と文化コース	2
	情報コース	0
	自然と環境コース	1
計		12



2023年度第2学期卒業生の皆さん



ようこそ放送大学へ！

学位記授与式同日の午後、鳥取学習センターにて「入学者の集い」が開催されました。新入学者83名のうち19名が出席されました。

式典では、渡邊所長からの歓迎の挨拶、次いで、鳥取学習センター全在生から成る組織「校友会」会長清水道代氏より祝辞が贈られました。引き続き、概要説明・オリエンテーションの後、校友会総会が開かれました。



2024年度第1学期入学者の皆さん

謝 辞



卒業生代表 小川 友

年々早まる桜の開花の知らせには喜びよりも地球温暖化の深刻さを感じさせられ、満開のその景色にも複雑な気持ちを抱かずにはいられない昨今ではありますが、それでも今日、ご出席の皆様と共に卒業の日を迎えられたことを素直に嬉しく受け止めています。卒業生のバックグラウンドやこれまでの歩みはそれぞれに大きく異なってはいても、このひとつの達成における喜びや、ここに至るまで我々を支えてくださった先生・スタッフの皆様への感謝の思いにはきっと重なるところがあると確信しています。

私は2021年度1学期に社会と産業コースに3年次編入しました。先に学位を取った大学では卒業要件を論文ではない方法で満たしたため「卒業論文」

というものを書き上げてみたいと希望していたこと、また、会社員として働いたり、短期間ながら日本国外で生活したりする経験を経て、日本社会について批判的に再検討するために体系的に社会学を学ぶ必要性を覚えたことが動機でした。

既卒単位の認定によって面接授業の単位が取得済みとなったことや、試験も郵送やインターネットで行えるように制度及びシステムの改訂がなされた後だったため、私はほかの学生の皆様と比較しても学習センターにはあまり顔を出さない学生だったのではないかと思います。それでもこの鳥取学習センターのスタッフの皆様、とりわけ昨年度をもってご退任された田中所長に卒業研究の履修申請を出すための研究計画書の作成にあたり多大なサポートをいただいたことが忘れられません。私が選んだ、「インターネット、特にソーシャルメディアを中心に広がる社会的マイノリティに対する差別言説の動向についての調査・分析」というテーマについて、田中所長は、

当初は学術研究の作法に基づかない粗さだった研究計画草稿に対する丹念で的確なご指摘とアドバイスを通して、分野を問わず共通するアカデミックな調査・研究における論理主張の組み立ての重要性をご教授くださいました。また、テーマのセンシティブさから主張や価値観の偏りを懸念し若干の疑心暗鬼を生じていた私に、自身のテーマ設定のもととなった問題意識を信じるよう最初に背中を押してください、当時客員教員でいらしゃった東野先生にお引き合わせいただいたり、本部への問い合わせを推奨してくださったのも田中所長です。まずは所長に、それから東野先生や本部の担当窓口に自身の研究計画について説明する中で、むしろ自分自身に対して論点の整理を行っていたと言えるのかもしれませんが。翌年4月からの卒業研究の滑り出しをスムーズに行えたのも、こうしたサポートを受けて提出した履修申請の時点で研究計画の内容を緻密にしておけたからでした。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

放送大学の卒業研究は、一般的な大学における卒業論文執筆に比べると、テーマ設定や研究手法の決定、その進捗にも自律的な決断と行動が求められることはよく知られています。こうした難しさと、卒業に必須の要件ではないということもあって、わざわざ卒業研究をするというのは単に学位を取得する意味では非効率的な選択であると言えるのかもしれませんが。それでも、自ら選び取ったものとしてひとつの問題設定をし、それに向き合い、学術的な文脈と蓄積にのっとなって理解、解釈しようとする営みは何にも代えがたい体験ですし、そうしたひとりひとりの問題設定の積み重ねが間違いなく学問というものをも発展させ続けています。放送大学はまさにこうした問いからはじまる研究の裾野を広げるための機関に違いありません。現在放送大学に在籍中で卒業研究を履修するかどうか迷っておられる学生さんがいらっしゃれば、ぜひ学習センターを訪ねて、その悩みの率直なところを相談してみしてほしいと、2021年度から3年間鳥取学習センターの皆様にお世話になった身としてお伝えしたいと思います。

2021年という、その前年から広がった新型コロナウイルスの影響がより大きくなっており、放送大学のシステムも大幅に、またある程度確定的に変化した時期です。面接授業をはじめ様々な学習センターでのカリキュラムや行事も中止や休止を余儀なくされ、希望していた形での学習や交流ができず苦労

した記憶の強い方も多くいらっしゃることでしょう。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大以前から放送大学を検討していたものの、当時からフルタイムの会社員をしており、特に前期・後期とも試験の時期に繁忙が重なるため一度入学を諦めたことがある私の場合はむしろ、この感染症への対処によって自宅等でのオンライン単位認定試験受験が可能になったこと、卒業研究の研究指導についてもWeb会議システムの利用が推奨されるようになったことで、はじめて放送大学での学びを具体的に検討・実践できた側面があったことを述べておきます。これは私のような生活上の制約がある人間だけでなく、所属学習センターから遠い自治体に住む人、心身の障害や不調、家庭環境等による困難など事情を抱えた人々にとっても必要なアクセシビリティの向上であったはずで、こうした変化はまた、「学びたい人すべてが、いつでも学べる「開かれた大学」」をうたう放送大学が、すべての学びたい人を真に包摂できていたのかを翻って問い直す機会でもあったのではないのでしょうか。この度無事に必要な単位認定と研究審査を経て卒業に至ることができた学生として、新型コロナウイルス禍を経たこれらの変化でもすくい取ることができない状況にある人、あるいはそうしたシステムの変化によって取りこぼされてしまう人を一人でも減らすべく、今後もぜひ本部・学習センターとも模索と改善を続けていただきたく願っています。

私はこの春から、修士選科生として学習を続けながら、修士全科生の入学者選考の準備にあたっています。同じように修士課程を目指す皆様、大学の別のコースでさらなる学習を続けられる皆様、そして今期入学される皆様と節目を共にしながらこれからも学んでいけることを嬉しく思い、また引き続きサポートくださる皆様に重ねて感謝を申し上げて、結びの言葉といたします。

2024年4月7日



教職員異動のお知らせ

鳥取学習センター客員教員の異動をお知らせします。

退任

関 耕二（スポーツ健康科学、体力学、保健体育科教育）
渡邊 文雄（食品栄養科学）
長谷川 ゆかり（看護学）

新任

加藤 敏明（スポーツ科学、介護予防）
田中 響（基礎看護学）

【客員教員退任の挨拶】



関 耕二
【スポーツ健康科学、体力学、
保健体育科教育】

放送大学鳥取学習センターにおいて、客員教員として2019年4月より5年間、勤務させていただきました。その間、「令和」がはじまり、コロナ禍を経て、現在に至るといふ記憶に残る5年間となりました。そんな中、学習相談にきていただいた学生の皆様の「学びたい」「知りたい」「なぜ」という学びに対する欲求や熱意に圧倒されることもしばしばありました。客員教員として、そういった学生の皆様の期待に応えられたか自信がありませんが、私自身が自分の研究に対する姿勢を考えさせられたことは確かです。人生経験豊かな学生の皆様が、自身の健康に関する相談から、さらに一歩踏み込んだ研究



へのアプローチや、勤務先での研究活動に対する多角的な視点など、その相談内容も幅広く、どれも興味深いものでした。そのような学習相談を通じて、どこにいても、どんな環境でも、何歳になっても学び続けることが、いかに大切かを私も学びました。

最後に、歴代のセンター長をはじめ、本学習センターのスタッフの方々には、大変お世話になりました。今後の本学習センターと学生の皆様の益々のご発展を祈念しております。



長谷川 ゆかり
【看護学】

2021年度から3年間、鳥取学習センターの客員教員として学習相談とセミナーを担当させていただきました。

セミナーでは、長らく県保健師として県民の皆様の健康づくり活動に携わってきた経験から、健康寿命に関するお話をさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の真っ最中でしたので、感染予防のための手洗いの効果の確認を一緒にしたり、人生の最後を迎える時に自分が大事にしたいことを、グループに分かれてゲームをしながら考えていただくなど、楽しみながら学んでいただければと考えていました。実際には、お伝えしたいことがたくさんありすぎて、一方的な話になったり、時間を延長してしまったりと反省するばかりです。



受講生の皆様の中には、毎回聴講いただいた方や西部からわざわざおいでいただいた方もあり、感謝しています。さらには、何歳になっても自ら学ぶという姿勢は素晴らしいと改めて思い、私自身も学び続けなければという気持ちになりました。

また、放送大学にはサークル活動や文化祭もあり、学生の皆様は勉学だけでなく学生生活を楽しまれているのだなと思いました。

放送大学での学びは自律した学びだと思います。学生の皆様がそれぞれの目標を達成されることをお祈りします。

最後になりましたが、センター長はじめ、職員の皆様にご世話になりました。ありがとうございました。

2024年度 鳥取学習センターの職員を紹介します。 よろしくお願ひいたします。

所 長 : 渡邊 文雄
事 務 長 : 宮田 育征
事務職員 : (広報)上野 武彦 (総務)福家 智恵子
(教務)井関 愛・山瀬 いづみ

退任

所 長 : 田中 久隆
事務職員 : (教務)松本 晶子 ・ (会計)定久 恵子

新任

所 長 : 渡邊 文雄
事務職員 : (教務)山瀬 いづみ



【退任職員挨拶】

【教務】松本 晶子

この度、3月31日をもって退職することになりました。

働き始めた当初は放送大学についてよく知りませんでした。センターに日々来所される学生さんから学習方法を教わり、専門的な内容を楽しく学習する面接授業や学生研修旅行に参加させていただき、放送大学について理解を深めることができました。学位記授与式では、卒業までの体験を教えてくださいました。学生さんや先生方からは日々親しくお声をかけていただき、これまでで一番楽しい職場となりました。5年間大変お世話になりありがとうございました。

【会計】定久 恵子

任期満了のため3月末にて退職することになりました。1年5ヶ月と短い勤務期間でしたが、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、以前のような授業や放大大まつり等の行事が行われるようになった時期で、学生の皆さんとお目にかかる機会に恵まれ幸いでした。学位記授与式は印象深く、忙しい日々のなか学習に取り組まれ学位記を授与された方々の姿に自分を振り返り少し恥ずかしく思いました。

至らぬばかりでしたが、周りの方々に助けられなんとか勤務することができました。ありがとうございました。

【新任職員挨拶】

【教務】山瀬 いづみ

4月より入職することになりました、山瀬いづみと申します。

初めは慣れない環境の中でご迷惑をお掛けする日々だと思いますが、確実に一步一步進めるよう精一杯励みますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務室からのお知らせ

学生証について

参照『学生生活の栞』学部 P18~20 大学院 P24~28)

施設のご利用・単位認定試験受験の際は、学生証が必要です。
新規入学・継続入学の方、学生証更新の方は、学生証の交付を受けて下さい。

受
取
方
法

新規入学・継続入学の方

入学許可書をお持ちのうえ、

鳥取学習センターへお越し下さい。

在学生で学生証の有効期限が
令和6年3月末で切れた方

有効期限が切れた学生証をお持ちのうえ、

鳥取学習センターへお持ち下さい。

- ※ 鳥取学習センターへの来所が難しい場合は、郵送で受け取ることもできますので、お申し出下さい。
- ※ 出願時に写真を提出・登録をされなかった方は、システム WAKABA の学生カルテから写真登録をするか、「学生生活の栞」巻末の「写真票」(学部・様式 11、大学院・様式 10)を本部まで郵送してください。

「学生生活の栞」と「利用の手引」について

「学生生活の栞」は大学本部より印刷教材等と一緒に郵送されます。この栞には放送大学での学修で重要となる、各授業の受講方法・単位認定試験までの必要手順やスケジュール・住所変更や休学などの各種申請手続きを始め、学習センターの利用方法・教務情報システム(システム WAKABA)・課外活動等についても記載されています。

「利用の手引」は、鳥取学習センターのご利用案内・スケジュールなどを掲載した、学生の皆様のための手帳です。事務室でお配りしております。まだお持ちでない方は、来所の際にお申し出ください。



各種届・変更について 参照『学生生活の栞』学部 P20～21,P82～89、大学院 P29～30,P81～90

現住所・連絡先に変更があったときは、速やかに変更の手続きをお願いします。通信指導、科目登録申請要項等の郵便物発送時期に注意し学習に支障が生じないようにして下さい。『学生生活の栞』の変更・異動手続受付期間一覧を参照の上、巻末にある各種届出の諸様式を提出先宛に郵送いただくか、システム WAKABA の「教務情報」→「変更・異動手続」から変更してください。

★「学生生活の栞」の巻末には、各種届出の諸様式があります。

学習相談について

各分野の専門的な内容や履修科目の選定(卒業研究を含む)に関すること、あるいは基礎学力をアップしたいなど、学修上の様々な問題は客員教員の「**学習相談**」をご利用ください。相談する客員教員がわからないときは、事務室の「**何でも相談窓口**」にお申し出ください。詳細につきましては、鳥取学習センターウェブサイト (<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori/>) の【お知らせ】の「学習相談について」をご覧ください。または、鳥取学習センターにご連絡ください。(電話：0857-37-2351)

修学支援について

放送大学では、障がい(肢体、視覚、聴覚、言語など)のある方で学習に支障をきたす恐れがある場合、障がいの特性に応じた「修学上の特別措置」により修学支援を行っています。特別措置を希望される方は、大学ウェブサイトをご覧いただくとともに、学習センター事務室にご相談ください。※詳細は「学生の栞」(教養学部) P28 をご覧ください。

通信指導について 参照『学生生活の栞』学部 P63～68、大学院 P63～68

通信指導を提出し、合格しないと、単位認定試験を受験できません。



通信指導は、各学期の途中に1回、前半の一定の範囲で出題されます。履修科目の単位修得が必要な方は必ずご提出ください。通信指導の問題冊子は、印刷教材と一緒に発送します。(通信指導の解答および提出がWebのみの科目を除く。)問題が**5月8日(水)**までに届かない場合は、大学本部(学生サポートセンターTEL：043-276-5111)へ連絡して下さい。※通信指導の問題冊子発送状況は、システム WAKABA の「教務情報」>「学生カルテ」>「教材発送情報」で確認できます。

提出期限

※提出期限を過ぎて到着したものは受理されませんので、余裕をもってご提出下さい。

★Web 5月8日(水) 10:00～5月29日(水) 17:00

★郵送 5月15日(水) ～5月29日(水) 必着

2024年度第1学期単位認定試験について 参照『学生生活の栞』学部 P68～78、大学院 P68～77

放送授業を科目登録し、通信指導の結果により受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。出題範囲は第1回から第15回までの放送授業とそれに対応する印刷教材の範囲です。今学期の単位認定試験の実施方法および実施期間は以下のとおりです。

2024年度単位認定試験についてのご案内をご覧ください。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/>

実施方法	出願形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	2024年7月14日（日）9：00～7月22日（月）17：00
	記述式・併用式科目	2024年7月14日（日）9：00～7月18日（木）24：00
郵送試験	すべての出題形式	2024年7月14日（日）～7月18日（木）《必着》

○Web 受験が困難な方は、申請をすれば、学習センターで受験することができます。

・ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情があり、Web 受験が困難な方は、所定の期間内に申請を行うことで、学習センターで受験することができます。

●申請方法

- 1.システム WAKABA で変更手続き 「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」
- 2.単位認定試験受験場所変更願（学生生活の葉巻末 様式 15（学部）、様式 14（大学院））郵送提出

●受付期間 ※郵送提出の場合は期限内必着

○ 第1学期の単位認定試験から変更する場合

2024年4月1日（月）～5月24日（金）

申請宛先

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学 学生課 単位認定試験係 行

<注意事項>

- 注1・学習センターで受験する場合、「授業科目案内」及びシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験いただく必要があります。
- 注2・学習センターのパソコンで受験していただきます。学習センターで受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」と「択一式の解答」は、学習センターのパソコンによりご自身で行っていただきます。
- 注3・郵送受験科目は、パソコン等を使用しないため、学習センターでの試験を実施しません。
- 注4・受験場所変更の申請は1学期に1回のみ可能です。
- 注5・個別に学習センター受験日時調整をお願いすることがあります。

卒業ガイダンス参加者募集のお知らせ

※当日のスケジュールは変更になる場合があります。

鳥取学習センターでは、2025 年度履修希望者を対象に卒業研究ガイダンスを開催します。放送大学本部から教職員が参加しますので、卒業研究の履修を検討されている方や興味のある方は、ぜひご参加ください。

日 時	2024年6月15日（土）13：30～	スケジュール
場 所	放送大学鳥取学習センター	13：30 所長挨拶
本部出席者	人間と文化コース教員・学生課職員	13：40 事務説明（学生課職員）
申 込 方 法	鳥取学習センターにご連絡ください	14：15 卒業研究について（教員）
		14：45 質疑応答
		15：05 閉会・相談会

学生掲示板 学生サークル

和風サークル「さつき」

「着物」をより身近に楽しむ「和風サークル『さつき』」です。

毎月1回程度活動しています。

着物や和装に興味のある方のご参加をお待ちしています。

季節ごとに様々なイベントも計画しています。見学大歓迎です♪

着物や道具をお持ちでない方もお気軽にご参加ください。

一緒に着物を
楽しみましょ



- 日 程 4/21(日)、5/19(日)、6/16(日)
- 時 間 13：00～15：00
- 場 所 鳥取学習センター
- 持ち物 着物、着付けの道具等
- 申 込 学習センターまでお申し込みください。

書に親しむ会

心を落ち着けて「書」に向かうひとときを過ごしてみませんか。

鳥取学習センターに学ぶ学生のサークル活動の一環として、初めて筆をもたれる方から経験者まで、共に書に親しむを通じ、相互の親睦と交流を図ることを目的に開催します。お気軽にご参加ください。



講師 放送大学鳥取学習センター客員教授 住川 英明 先生
(日本書道史学、書写書道教育学)

日程 4/17(水)、5/15(水)、6/19(水)

時間 13:30~15:00

場所 鳥取学習センター

熊原先生と楽しく数学を学ぼう！！

「心理学実験の面接授業を受講したけど、統計が難しかった」とよく耳にします。心理学実験を受講したいけれど、統計学が難しそうだからと受講を躊躇していらっしゃる方も多いのでは……。まずは、統計学の初歩の初歩と一緒に学びませんか。先生曰く、「難しいと思われがちな数学ですが、段階を踏み一歩ずつ進めば案外わかりやすいことも多いです。一緒に楽しく学びましょう。試験等は一切ありません。」

科目 数学 (学習内容は熊原先生と受講生が相談のうえ決定します)

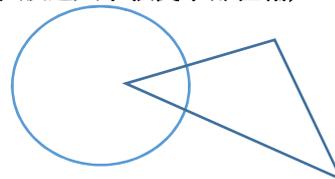
講師 熊原 啓作 先生 (放送大学名誉教授、鳥取大学名誉教授、放送大学教養学部在籍)

日時 毎月第2・第4土曜日 14:00~15:30

場所 鳥取学習センター

受講料 無料

連絡先 ☎0857-37-2351 Email newtottori@ouj.ac.jp



サークル「ノルディック・ウォーク」

長らくお待たせいたしました。ノルディック・ウォークを再開します。

指導は「全日本ノルディック・ウォーク連盟公認指導員」の山本勝彦さん(全科履修生)です。

～日頃勉強ばかりの皆さまへ～

腰と膝関節への負担軽減になり、運動不足解消にもなるノルディック・ウォークを始めてみませんか。

日程 6/23(日)

8/4(日)、8/18(日)

9/1(日)、9/15(日)

時間 10:00~11:30

活動 鳥取市駅南地区ウォーキング

集合場所 鳥取学習センター



7/7(日)の活動の詳細は、同封のチラシをご覧ください。

登山と食事と瞑想体験

【日程】 7/7(日)

【時間】 9:00~16:30

【場所】 遠見山 805.9m

【食事】 光澤寺(イタリアン精進料理)

【集合場所】 鳥取学習センター

【参加申込】 鳥取学習センター・事務室

TEL 0857-37-2351

E-mail newtottori@ouj.ac.jp

サークル活動の実施に関しましては、日程変更がある場合など鳥取学習センターウェブサイト等でお知らせします。ご不明な点は、お電話等で確認をお願いいたします。

2024年度 第1学期 ★ 教務スケジュール表 ★

4月 5月 6月 7月 8月 9月



放送授業

4/1 **放送授業期間** 7/14 **夏期学習期間** 9/30



テキストが届きます 授業を視聴・学習します 通信指導を提出します 引き続き、授業を視聴・学習します 単位認定試験を受験します

通信指導提出期間
 郵送 5/15～5/29 7月中旬 単位認定試験
 Web 5/ 8～5/29 記述・併用 7/14～7/18
 通信指導添削結果と受験票が届きます 択一 7/14～7/22

通信指導を提出・合格しないと単位認定試験を受験できません。



試験に合格すると、単位を取得できます！



放送授業、オンライン授業、と面接授業(ライブWeb授業を含む)の科目登録申請手続きです

次学期に履修する科目登録申請

■申請先：本部

郵送	8/15～8/30
Web	8/15～8/31

Webを利用した科目登録は、放送大学学生専用のサイト「システムWAKABA」から申請してね。



オンライン授業

ライブWeb授業

面接授業

4/5 **オンライン授業** 科目別に7月中旬までに課題締切。その後、9/2まで閲覧可能

全ての学習をインターネット上で行います。インターネットで講義視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を提出して学びを進めます。提出期限は科目ごとに決められています。成績評価は、これらの提出等、学習状況で判断しますので、通信指導及び単位認定試験は行いません(一部科目を除く)。印刷教材はありません。その科目の授業内容をまとめた「講義ノート」、学びの参考となる「資料」はダウンロードすることができます。



5/1 **ライブ Web 授業** 7/10

Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。ご自宅等でPC等を用いて受講します。決まった日時に授業を行うリアルタイム形式の授業で授業当日は、専用システムにログインし、各回の講義用 zoom へのリンクから仮想の講義室に入室します。このライブ Web 授業科目は、本学の正式な授業科目で、卒業要件上の「面接授業科目またはオンライン授業」の単位として扱われます。授業の取り組みやレポート等の評価の結果、合格した場合には所定の単位が付与されます。Q&Aは「オンライン授業体験版」(<https://online-open.ouj.ac.jp/>)内にある「ライブ Web 授業体験版」をご覧ください。

8月下旬 成績通知

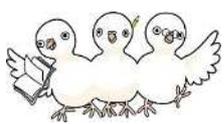
面接授業

空席発表・追加登録申請
 申請先：開設学習センター

空席発表:4/13(土)
追加登録受付:4/18(木)

受付締切:原則として開講日の一週間前

面接授業の追加登録は、授業を開設するセンターの窓口で、授業料を添えてお申し込みください。



今後のスケジュール

4月			5月			6月		
1	月	閉所日	1	水	㊦ 集中科目履修生受付・ 在学生科目登録開始(～5/31)	1	土	面接授業
2	火		2	木		2	日	面接授業
3	水		3	金	閉所日 憲法記念日	3	月	閉所日
4	木		4	土	閉所日 みどりの日	4	火	
5	金		5	日	閉所日 こどもの日	5	水	
6	土	㊧ 入学時オリエンテーション(臨床以外)	6	月	閉所日	6	木	
7	日	2023年度第2学期学位記授与式 2024年度第1学期入学者の集い	7	火		7	金	
8	月	閉所日	8	水	通信指導提出開始(Web～5/29)	8	土	面接授業 田中響先生オープンセミナー 数学セミナー
9	火		9	木		9	日	面接授業
10	水		10	金		10	月	閉所日 出願資格事前審査申請開始(～7/10)
11	木		11	土	面接授業 数学セミナー	11	火	御船先生オープンセミナー
12	金		12	日	面接授業	12	水	
13	土	面接授業 ㊨ 面接授業空席発表 数学セミナー	13	月	閉所日 ㊧ 入学時オリエンテーション(臨床)	13	木	
14	日	面接授業	14	火		14	金	
15	月	閉所日	15	水	通信指導提出開始 (郵送～5/29大学本部必着) 書に親しむ	15	土	面接授業 2024年度第2学期出願開始(第1回～8/31) 卒業研究ガイダンス
16	火		16	木		16	日	面接授業 和風サークル さつき
17	水	書に親しむ	17	金		17	月	閉所日
18	木	㊨ 面接授業追加登録受付開始	18	土	面接授業	18	火	
19	金		19	日	面接授業 和風サークル さつき	19	水	書に親しむ
20	土	面接授業	20	月	閉所日	20	木	
21	日	面接授業 和風サークル さつき 渡邊所長オープンセミナー	21	火		21	金	
22	月	閉所日	22	水		22	土	面接授業 数学セミナー 単位認定試験システム操作体験会
23	火		23	木		23	日	面接授業 渡邊所長オープンセミナー ノルディック・ウォーク
24	水		24	金		24	月	閉所日
25	木		25	土	面接授業 数学セミナー	25	火	
26	金		26	日	面接授業	26	水	
27	土	面接授業 数学セミナー	27	月	閉所日	27	木	
28	日	面接授業	28	火		28	金	
29	月	閉所日 昭和の日	29	水	通信指導提出締切(Web・郵送)	29	土	面接授業 アベ先生オープンセミナー
30	火		30	木		30	日	面接授業 加藤先生オープンセミナー
			31	金	㊦ 集中科目履修生受付・在学生科目登録締切			

㊧…教養学部

㊨…大学院修士課程

㊩…大学院博士後期課程

㊦…学校図書館司書教諭講習

鳥取学習センターの 開 所 時 間

期 間	曜 日	開 所 時 間
通 常 期	火～日	9:30～18:00
単 位 認 定 試 験 期 間	火～日	9:30～18:00
毎 週 月 曜 ・ 祝 日 ・ 年 末 年 始 他		閉 所 日

※単位認定試験期間中は、入所制限並びに開所時間に変更になります。

ぶりずむ 第193号 令和6年4月発行
編集・発行 放送大学 鳥取学習センター



〒680-0845鳥取市富安2-138-4
鳥取市役所駅南庁舎5階
TEL 0857(37)2351
FAX 0857(37)2352
E-mail newtottori@ouj.ac.jp

web site <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tottori>

ノルディック・ ウォーキング

登山のイベントを計画しました！

日時：2024年 7月7日 日

行先：遠見山・光澤寺



行程

鳥取学習センター集合 → JR鳥取駅 → 若桜鉄道丹比駅 →
9:00 9:47 10:30

遠見山登山 → 光澤寺 (13:00から食事と瞑想)
10:45 12:30

昼食は、光澤寺でイタリアン精進料理を予定しております。
また、お寺にて瞑想の体験をします。

若桜鉄道丹比駅 → JR鳥取駅 → 鳥取学習センター解散
15:20 16:05 16:30

服 装：運動できる服装。靴はトレッキングシューズでご参加下さい。

持ち物：雨具・飲み物・ポール（お持ちでない方は貸出いたします。）

申 込：6月30日までに鳥取学習センター事務室まで。

※学研災への加入が必要となります。

費 用：自動車代1220円＋食事代1500円または2000円です。

※食事代は、参加人数によって変動します。

お申込み
お問い合わせ

放送大学鳥取学習センター事務室
TEL: 0857-37-2351